

「3つ感謝する習慣」(2024.11.17)

「恵み深い主に感謝せよ。慈しみはとこしえに。

神の中の神に感謝せよ。慈しみはとこしえに。

主の中の主に感謝せよ。慈しみはとこしえに。」(詩編 136:1~3)

いつも愛読している「アパ・ルーム」の黙想文(米国の女性)を紹介します。

「最近私は、毎晩寝る前にその日気付いたことを3つ感謝することに決めました。ある日は、食料品店で必要な物を見つけたり、励ましのメッセージを受け取ったり、美しい日差しの暖かさを感じたりといった単純なことに感謝します。他の時には、数時間かけて取り組んだコンピュータの問題の解決策を見つけたり、癒しを経験した友人と一緒に喜んだりすることに感謝の祈りをささげます。たいていの夜、リストは3つで収まりません！この方法により、神様の慈しみが私の一日を包んでいることを実感しています。

神様の慈しみに集中することで、私の霊はとても高められました。以前よりずっと早く眠気が訪れ、平安の内に恵まれます。神様の祝福に思いを馳せながら眠りにつくと、同じような気持ちで目覚めることができることに気づきました。この実践のおかげで、私の態度や一日の間の幸福感がどれほど変わったことでしょうか！」



この黙想文に励まされて、私もチャレンジしました。寝ながら直近の夜の事から朝の事まで思い出し、感謝します。なるほど3つでは収まりません。その日のすべてが感謝になるのです。上掲の御言葉が私の心に響き渡るなかでいつしか眠ってしまうことがあります。でも、同じような気持ちで目覚めるところまでにはなっていません。朝はゼロベースで主の前に目覚め、心を整えます。そうなる日を期待しています。

横手教会も1日感謝3つで収まりません。まずもってすべての教会員が一日生かされた、遣わされたその場において教会の一枝として生かされたのです！そして礼拝が捧げられ、諸集会が持たれ、学びや交わりがなされているのです！また、丹波先生を迎えての特別礼拝、召天者記念礼拝など教会の特別な営みも祝福の内になされたのです！

今後、収穫感謝礼拝、クリスマス諸行事、かまくら演奏会など続きます。慈しみ深い主が共におられます！祝福の源アブラハムの子として感謝して^{×3}取り組みましょう！